

ふるさととは今 五十猛のグロ【国指定重要無形民俗文化財】



▲青竹の先端部の葉が大きく揺れ、垂直に立てる作業は難航

年頭、大浦の港で、小正月行事（1月11日～15日）として伝承されている「グロ」が行われました。

グロとは、大浦地区の漁師たちが、木、竹、ササで壁を造りゴザで屋根架けた直径8mほどの円錐状の仮屋をつくり、歳徳神（としとくじん）を迎え、豊漁と無病息災を祈願し、最後の日に住民が持ち寄った正月飾りとともに仮屋を焼き払う行事です。

11日（日）、朝8時、当番にあたった20～80歳代の約40名がグロの組み立てを始めました。最初に、根本の直径が約15cm、長さ約20mのモウソウ竹を2本束ねた「センボクさん（神木）」を、グロ中央に掘った穴へ立てつけます。しかし、この日は、みぞれ混じりの雨と強風が吹き荒れ作業は難航。

「○○、▽&%□…。◎◎、+※◎△…!」、聞き取り不可能な世話役漁師の言葉が飛び、呼応して、うんともすんとも言わず、持ち場のそれぞれがロープを引いたり緩めたりしながら、センボクサンを立ち上げました（写真左）。きっと、「○○さんの持ち場はロープを緩め、◎◎さんの方はロープを

思いっきり引け!」といったような指示でしょう。

荒ぶる海上で同船し漁を営んでいる漁師さんたちだけに通じる簡にして明の指示や合図の一端が垣間見えた瞬間でした。

この後、仮屋を完成させ神迎いの神事を経ると、地元の住民たちが集まり、センボクサンを中心に組まれた3基の囲炉裏端に腰を下ろします。「この火にあたり煙をあび、この火で焼いた餅などを食べるとその年は病気になるよ」との話をしながら、だれかれとなく話しがはずみずみ。

さて、皆さんがお住まいのところには仮屋やとんど（小正月の火祭り行事。いろいろな呼び方あり）が今でも営まれているでしょうか。そうであるなら、ぜひ参加していただき、残し続けて欲しいものですね。

【参考文献：文化庁国指定文化財等データベース】



▲「餅を焼くときゃ、壁の竹の枝を折ってその先っぽに餅を刺して焼くだで…」とのアドバイスあり

おおだ空き家情報

平成27年1月30日現在

Uターン、Iターンなど定住についてのご相談や空き家情報についてのお問い合わせは、『おおだ定住支援センター』までお願いします。

空き家物件の現地案内もいたします（物件所有者との調節が必要です。必ず事前の連絡をお願いします）。

今回掲載されていない物件もあります。詳しくはお問い合わせください。なお、空き家情報は、定住サイト『どがどが』でご覧いただくことができます。

おおだ定住支援センター〈大田市役所地域振興課定住推進室 ☎0854-83-8029〉に相談ください。



長久町 売買1,800万円

大型スーパー、ホームセンター、バス停も近くにあり日常生活には便利な物件です。



鳥井町 売買380万円

海岸部に位置する明治34年築の古民家住宅です。台所、浴室は改修工事が必要です。



温泉津町 賃貸月1.5万円
売買170万円

UIターン者用の物件で、海岸部に位置する明治43年築の古民家住宅です。

この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行／大田市役所政策企画部地域振興課定住推進室 TEL:0854-83-8029 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail: o-tiiki@iwamigin.jp http://www.city.ohda.lg.jp/

“おおだ”の定住サイト「どがどが」 http://www.teiju-ohda.jp/

どがどが 検索